

令和元年10月30日
田端ふれあい館第3ホール

第6回 (仮称) 芥川龍之介記念館検討委員会
次第

1. 開会

2. 基本的な考え方及び整備構想案 施設整備の方向性について

3. その他

(1) 今後の予定について

- (2) その他
- ・埋蔵文化財調査の実施
 - ・芥川龍之介旧居跡サザンカの状況

【配付資料】

(事前送付)

- 資料1 (仮称) 芥川龍之介記念館の基本的な考え方及び整備構想案 [2 施設整備の方向性] (案)
- 資料2 建物基本デザイン参考事例
- 資料3 芥川龍之介旧居跡サザンカの状況
- 資料4 第5回 (仮称) 芥川龍之介記念館検討委員会 議事要旨

(仮称) 芥川龍之介記念館の基本的な考え方及び整備構想案

[2 施設整備の方向性] (案)

令和元(2019)年10月30日

II 施設整備の方向性

1 整備予定地の諸条件

所在地	北区田端 1-20-9
敷地面積	敷地部分 290.16 m ² * 総敷地面積は 332.85 m ² 。ただし道路拡張用用地（セットバック部分）42.68 m ² を差し引く必要あり。
建ぺい率	60%
容積率	160%（基本的には 300%だが、前面道路の幅員により）
区域区分	市街化区域
用途地域	第一種住居地域
検討にあたっての諸条件	・ 建築可能な延べ床面積は最大 200 m ² （東京都建築安全条例により） ・ 客席があるもの（映画館、劇場、演芸場、観覧場）は建築できない（用途地域により）

■ 建設可能な建物について

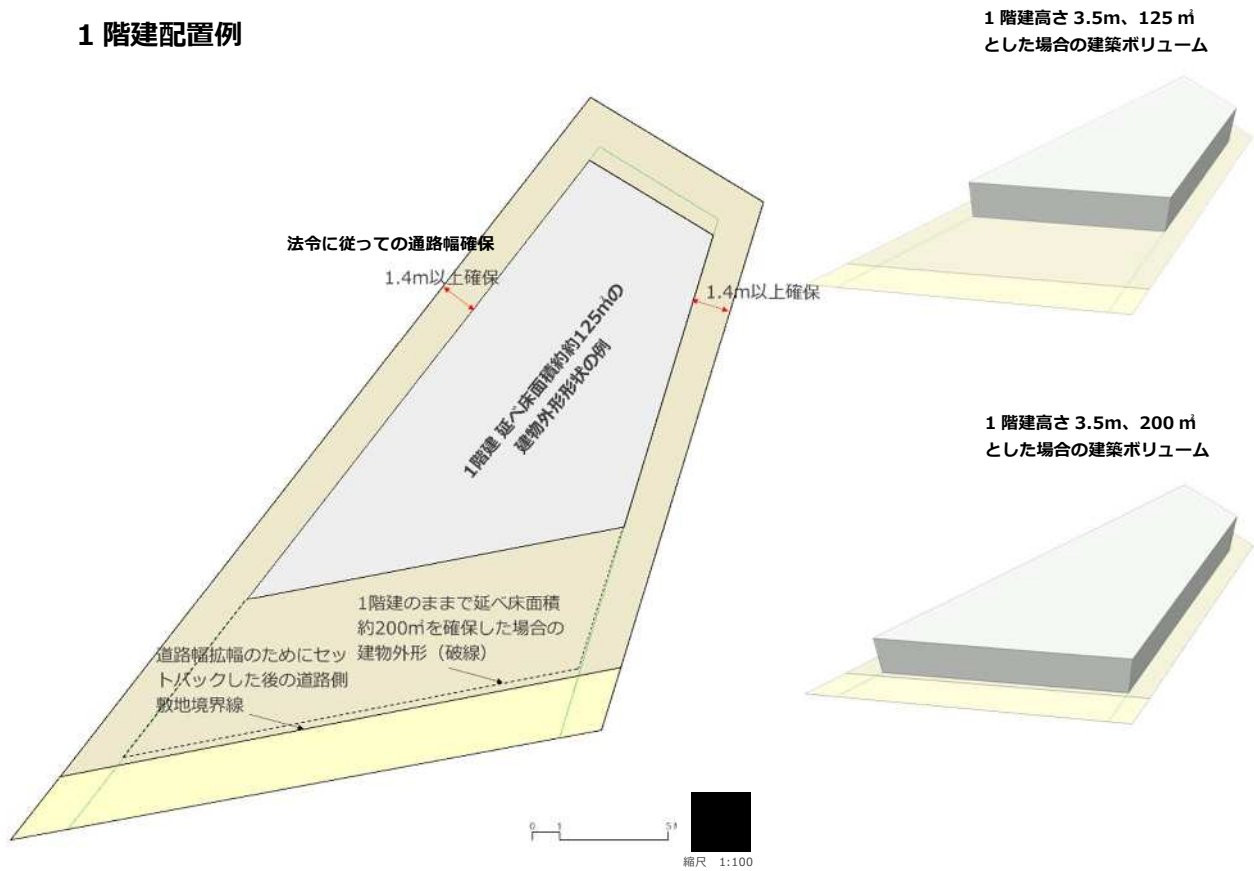
延べ床面積（各階の床面積の合計）上限は 200 m²で、現実的には 1 階または 2 階の建築物。木造建築物等の場合は、隣地から一定の距離内で延焼のおそれのある部分の外壁や軒裏は防火構造とする必要がある。

<その他の条件>

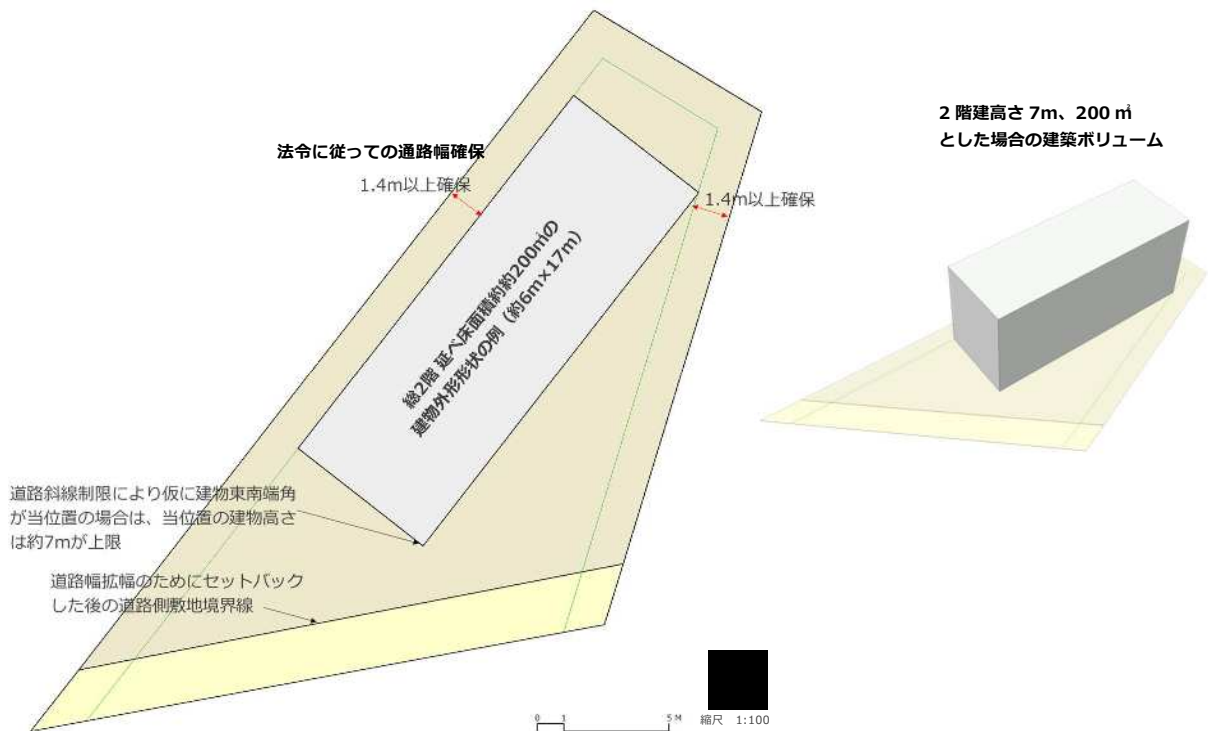
- 防火地域：準防火地域
- その他区域：第三種高度地区（10m から規制がかかる）
- 日陰規制：4 時間/2.5 時間
- 埋蔵文化財蔵地、区画整理残存地区
- バリアフリー関連：バリアフリー法、東京都建物バリアフリー条例、東京都福祉のまちづくり条例の適用により、駐車場設置の場合は 1 以上の車いす使用者用駐車施設の設置が必要
また廊下や敷地内道路の幅 140cm 以上、出入り口の幅 100cm 以上が必要であり、段差禁止等バリアフリーの観点による基準に適合させる必要がある

2 建物規模の検討 (1 階建・2 階建)

1 階建配置例



総2階建配置例



4 諸室の内容

(1) 諸室概要

①書斎の復元エリア

- ・ 2階を想定
- ・ 窓など含めて当時の書斎をできるだけ忠実に再現
- ・ 書斎内には入室可能とする
- ・ 書斎の内装、書籍・備品等は、調査・研究に基づく再現を目指す
- ・ 一部の書籍・備品は手に取れるレプリカとする
- ・ 展示・体験に求められる空調、照明などに配慮

②展示公開エリア

- ・ 一般展示室（展示ウォール、展示ステージ、展示ケース等で構成）
- ・ 芥川龍之介の生涯などを壁面展示、実物展示など行う
- ・ 映像も活用
- ・ 展示に求められる空調、照明などに配慮

③交流・いこいのエリア

- ・ 普段は寛ぎの空間であり、必要に応じて交流や諸活動の場として活用
- ・ 当時から残っている沓脱石を配置
- ・ 縁側（普段はカフェ空間としての活用を検討）
- ・ 芥川の本を手に取り読めるスペース
（*必要に応じて図書室を整備）

④情報提供・サービスのエリア

- ・ エントランス
- ・ ミュージアムショップ&エントランスホール
*（有料施設とする場合は）チケット売り場
- ・ トイレ、ロッカーなど

⑤管理・研究エリア

- ・ 管理運営、学芸員による研究活動や展示活動のための事務室
*大規模な展示準備空間、収蔵庫等は田端文士村記念館における対応を想定

⑥共用スペース等

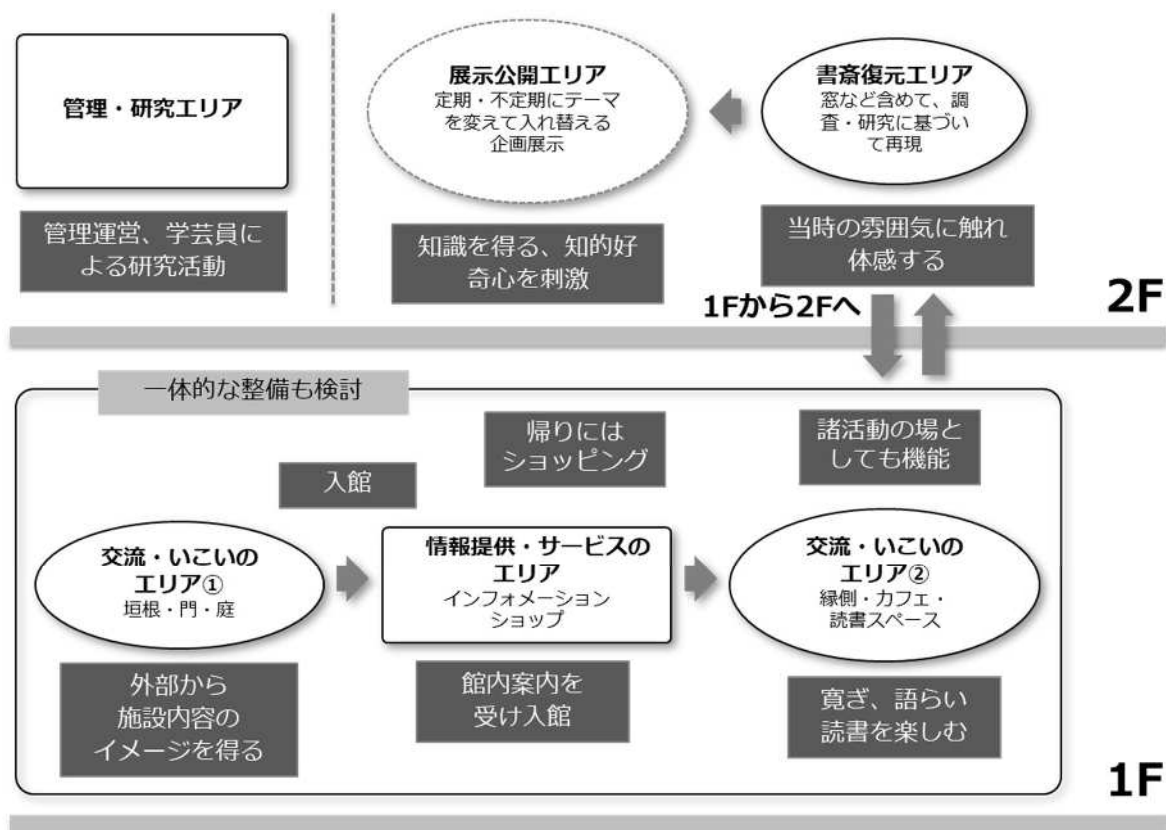
- ・ トイレ、廊下、階段、エレベーター、倉庫、機械室等

(2) 諸室面積想定

<諸室面積想定 総床面積を 200 m²とした場合の想定例>

エリア (部門)	概要	想定面積
書斎の復元エリア	書斎展示室	20 m ² (約 13 畳程度)
展示公開エリア	一般展示室 展示準備室	40 m ²
交流・いこいのエリア	縁側 カフェ 読書スペース ※庭等の外部空間も該当 (面積内訳外)	30 m ²
情報提供・サービスのエリア	エントランスホール インフォメーション ミュージアムショップ トイレ、ロッカー	30 m ²
管理・研究エリア	事務室 給湯室 ロッカー	30 m ²
共有スペース等 (全体の 20~25%)	廊下、階段、エレベーター 倉庫、機械室等	50 m ²
	延床面積	200 m ²

(3) 機能構成図 (例)



芥川龍之介旧居跡サザンカの状況

06/25 挿し木採取



09/10 接ぎ木採取



09/26 挿し木（左）・接ぎ木（右） 状況

第 5 回（仮称）芥川龍之介記念館検討委員会 議事要旨

【日時】 令和元年 9 月 3 日（火） 午後 2 時 3 0 分～午後 4 時 3 0 分

【場所】 田端ふれあい館 2 階第 3 ホール

【出席者】 6 名

浅賀義男委員長、庄司達也副委員長、浦野和也委員、神田由美子委員、
桜井美保子委員、関根和孝委員、中嶋稔委員

【欠席者】 1 名

菊池敏正委員

- 【検討事項】
- ① 前回のワークショップ結果のまとめについて検討した。
 - ・表記の修正について意見が出た。
 - ② 「1 基本コンセプトについて（案）」資料について検討した。
 - ・方向性や考え方について概ね了承した。
 - ・資料全体について、誤記、誤解を招く可能性がある表記、よりわかりやすくするための表記の修正について意見が出た。
 - ・芥川龍之介やその作品への興味関心を高めるための教育普及のあり方、田端文士村記念館との役割分担と連携、他の文学館や民間事業者との連携、実際に触れることのできるレプリカ整備の重要性などについて意見が出された。

【説明事項】 これまでの施設見学やワークショップなどにおける委員からの意見を集約してまとめた「1 基本コンセプトについて（案）」（整備の背景、基本理念・目指す姿、管理運営の考え方、事業内容など）について事務局から説明を受けた。
今回の指摘を受けて資料を修正すること、次回は建物（ハード）について検討するとの説明を受けた。